

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 30 日 (2020.1.30)

【公開番号】特開 2018-106320 (P2018-106320A)

【公開日】平成 30 年 7 月 5 日 (2018.7.5)

【年通号数】公開・登録公報 2018-025

【出願番号】特願 2016-250410 (P2016-250410)

【国際特許分類】

G 0 6 F 15/02 (2006.01)

G 0 7 G 1/12 (2006.01)

G 0 7 G 1/01 (2006.01)

G 0 7 G 1/06 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 15/02 3 4 0 B

G 0 7 G 1/12 3 2 1 A

G 0 7 G 1/01 3 0 1 E

G 0 7 G 1/01 3 0 1 D

G 0 7 G 1/06 B

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 12 日 (2019.12.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

キー入力部と、

表示部と、

ユーザ操作に応じて前記キー入力部から入力された数値データと、ユーザ操作に応じて前記キー入力部から入力された演算データとを含む入力計算データから支払額データを算出し、

ユーザ操作に応じた前記キー入力部からの第 1 の預り額データの入力と前記キー入力部からのお釣り機能の指示の入力とが受け付けられた場合、前記第 1 の預り額データから前記支払額データを減算した計算結果データを第 1 のお釣りデータとして前記表示部に表示させ、

前記第 1 のお釣りデータを前記表示部に表示させている状態で、前記入力計算データの再入力なしで、ユーザ操作に応じた前記キー入力部からの第 2 の預り額データの入力と前記キー入力部からの前記お釣り機能の指示の入力とが受け付けられた場合に、前記第 2 の預り額データから前記支払額データを減算した計算結果データを第 2 のお釣りデータとして前記表示部に表示させる、制御部と、
を備える計算装置。

【請求項 2】

メモリと、印刷部と、をさらに備え、

前記制御部は、

前記支払額データを前記メモリに保存し、

前記第 1 の預り額データから前記メモリに保存されている前記支払額データを減算することで前記第 1 のお釣りデータを算出し、

前記第 1 のお釣りデータを前記表示部に表示させ、
前記第 1 の預り額データを前記メモリに保存し、
前記メモリに保存されている第 1 の預り額データと、前記第 1 のお釣りデータとを前記印刷部に印刷させ、

前記第 1 のお釣りデータを前記表示部に表示させている状態で、前記入力計算データの再入力なしで、ユーザ操作に応じた前記キー入力部からの前記第 2 の預り額データの入力と前記キー入力部からの前記お釣り機能の指示の入力とが受け付けられた場合に、前記第 2 の預り額データから前記メモリに保存されている前記支払額データを減算することで前記第 2 のお釣りデータを算出し、

前記第 2 のお釣りデータを前記表示部に表示させ、
前記第 2 の預り額データを前記メモリに保存し、
前記メモリに保存されている前記第 2 の預り額データと前記第 2 のお釣りデータとを前記印刷部に印刷させる、
請求項 1 に記載の計算装置。

【請求項 3】

前記制御部は、
前記第 1 のお釣りデータを前記表示部に表示させた場合に、前記第 1 のお釣りデータを前記メモリに保存し、
前記第 2 のお釣りデータを前記表示部に表示させた場合に、前記第 2 のお釣りデータを前記メモリに保存する、
請求項 2 に記載の計算装置。

【請求項 4】

前記制御部は、
前記第 1 のお釣りデータを前記印刷部に印刷させる場合には、前記メモリから前記第 1 のお釣りデータを読み出して前記印刷部に印刷させ、
前記第 2 のお釣りデータを前記印刷部に印刷させる場合には、前記メモリから前記第 2 のお釣りデータを読み出して前記印刷部に印刷させる、
請求項 3 に記載の計算装置。

【請求項 5】

前記演算データには、前記入力計算データを計算した前記計算結果データを前記制御部により前記表示部に表示させる結果出力機能データが含まれ、
前記制御部は、
ユーザ操作に応じて前記キー入力部から入力された前記結果出力機能データが受け付けられた場合には、ユーザ操作に応じて入力された前記結果出力機能データに応じて、前記入力計算データの計算結果データを前記印刷部に印刷させ、
前記入力計算データの計算結果データが印刷されていない場合には、前記キー入力部から前記お釣り機能の指示の入力が受け付けられると、前記入力計算データの計算結果データを前記印刷部に印刷させる、
請求項 2 乃至請求項 4 の何れか一項に記載の計算装置。

【請求項 6】

前記制御部は、
前記第 2 のお釣りデータを前記表示部に表示させた場合に、前記第 2 の預り額データを前記第 1 の預り額データと置き換えて前記メモリに保存する、
請求項 2 乃至請求項 5 の何れか一項に記載の計算装置。

【請求項 7】

前記制御部は、
前記入力計算データを入力順に前記メモリに登録し、
前記メモリに前記第 1 の預り額データが保存され、なおかつ、前記メモリに前記第 2 の預り額データが保存されていない場合には、ユーザによる保存データ印刷操作に応じて、前記メモリに登録されている前記入力順の前記入力計算データと、前記第 1 の預り額デー

タと、前記第 1 のお釣リデータとを前記印刷部に印刷させ、

前記メモリに前記第 2 の預リ額データが保存されている場合には、前記メモリに登録されている前記入力順の入力計算データと、前記第 2 の預リ額データと、前記第 2 のお釣リデータとを前記印刷部に印刷させる、

請求項 2 乃至請求項 6 の何れか一項に記載の計算装置。

【請求項 8】

前記制御部は、

前記入力計算データを入力順に前記メモリに登録し、

前記メモリに前記第 1 の預リ額データが保存されている場合には、ユーザによる保存データ印刷操作に応じて、前記メモリに登録されている前記入力順の前記入力計算データと、前記第 1 の預リ額データと、前記第 1 のお釣リデータとを前記印刷部に印刷させ、

前記メモリに前記第 2 の預リ額データが保存されている場合には、前記メモリに登録されている前記入力順の入力計算データと、前記第 2 の預リ額データと、前記第 2 のお釣リデータとを前記印刷部に印刷させる、

請求項 2 乃至請求項 6 の何れか一項に記載の計算装置。

【請求項 9】

制御部により、

ユーザ操作に応じてキー入力部から入力された数値データと、ユーザ操作に応じて前記キー入力部から入力された演算データとを含む入力計算データから支払額データを算出し、

ユーザ操作に応じた前記キー入力部からの第 1 の預リ額データの入力と前記キー入力部からのお釣リ機能の指示の入力とが受け付けられた場合、前記第 1 の預リ額データから前記支払額データを減算した計算結果データを第 1 のお釣リデータとして表示部に表示させ

前記第 1 のお釣リデータを前記表示部に表示させている状態で、前記入力計算データの再入力なしで、ユーザ操作に応じた前記キー入力部からの第 2 の預リ額データの入力と前記キー入力部からの前記お釣リ機能の指示の入力とが受け付けられた場合に、前記第 2 の預リ額データから前記支払額データを減算した計算結果データを第 2 のお釣リデータとして前記表示部に表示させる、

計算方法。

【請求項 10】

キー入力部と、表示部と、制御部とを備える計算装置の前記制御部によって、

ユーザ操作に応じて前記キー入力部から入力された数値データと、ユーザ操作に応じて前記キー入力部から入力された演算データとを含む入力計算データから支払額データを算出させ、

ユーザ操作に応じた前記キー入力部からの第 1 の預リ額データの入力と前記キー入力部からのお釣リ機能の指示の入力とが受け付けられた場合、前記第 1 の預リ額データから前記支払額データを減算した計算結果データを第 1 のお釣リデータとして前記表示部に表示させ、

前記第 1 のお釣リデータを前記表示部に表示させている状態で、前記入力計算データの再入力なしで、ユーザ操作に応じた前記キー入力部からの第 2 の預リ額データの入力と前記キー入力部からの前記お釣リ機能の指示の入力とが受け付けられた場合に、前記第 2 の預リ額データから前記支払額データを減算した計算結果データを第 2 のお釣リデータとして前記表示部に表示させる、

コンピュータ読み込み可能なプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

本発明に係る計算装置は、

キー入力部と、

表示部と、

ユーザ操作に応じて前記キー入力部から入力された数値データと、ユーザ操作に応じて前記キー入力部から入力された演算データとを含む入力計算データから支払額データを算出し、

ユーザ操作に応じた前記キー入力部からの第 1 の預り額データの入力と前記キー入力部からのお釣り機能の指示の入力とが受け付けられた場合、前記第 1 の預り額データから前記支払額データを減算した計算結果データを第 1 のお釣りデータとして前記表示部に表示させ、

前記第 1 のお釣りデータを前記表示部に表示させている状態で、前記入力計算データの再入力なしで、ユーザ操作に応じた前記キー入力部からの第 2 の預り額データの入力と前記キー入力部からの前記お釣り機能の指示の入力とが受け付けられた場合に、前記第 2 の預り額データから前記支払額データを減算した計算結果データを第 2 のお釣りデータとして前記表示部に表示させる、制御部と、
を備える。